

理想的ながん免疫療法の展開 —がん免疫フレシジョン医療—

開催日時 2023年9月12日(火) 10:30~17:00
会場 千里ライフサイエンスセンタービル 5F(千里中央駅下車)
山村雄一記念ライフホール(WEB配信併用)

コーディネーター・座長

西川 博嘉 国立がん研究センター 研究所/先端医療開発センター 分野長
上野 英樹 京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 教授

近年の免疫チェックポイント阻害剤の成功により、悪性黒色腫、非小細胞肺癌、胃がん、腎細胞がんなど様々ながん種において、がん免疫療法はがんの標準治療の一つとなっている。進行期のがん患者においても劇的な治療効果が認められる一方で、免疫治療薬の恩恵を受けられない患者もまだ多く存在する。そのため、個々の患者のがん免疫応答を詳細に解析することで、新規治療法開発につなげるとともに、レスポンドとノンレスポンドを層別化できるバイオマーカーを同定することで、より効果的ながん免疫治療戦略を開発する必要がある。本セミナーでは、新規がん免疫療法開発の成功に向けて効果的な抗腫瘍免疫応答の分子基盤について議論し、次世代がん免疫療法への進展につなげたい。

「はじめに」 国立がん研究センター 研究所/先端医療開発センター 分野長 西川 博嘉

10:50-11:30 演題1「免疫チェックポイント分子の作動メカニズム」
東京大学定量生命科学研究科 応用定量生命科学研究部門 教授 岡崎 拓

11:30-12:10 演題2「腸内細菌叢と肥満関連肝がん
～腸内細菌関連物質の肝移行によるがん微小環境形成～」
大阪公立大学大学院医学研究科 分子生体医学講座 教授 大谷 直子

13:20-14:00 演題3「免疫ゲノム解析による腫瘍微小環境の免疫抑制機構の解明」
国立がん研究センター 研究所/先端医療開発センター 分野長 西川 博嘉

14:00-14:40 演題4「腫瘍微小環境のB細胞」
京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 教授 上野 英樹

14:40-15:20 演題5「がん免疫病態の多様性とその制御：複合がん免疫療法の開発」
国際医療福祉大学大学院医学研究科 医学専攻主任 免疫学教授 河上 裕

15:30-16:10 演題6「Conditional Activation of Antibody Therapeutics
in the Tumor Microenvironment」
中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部 本部長 井川 智之

16:10-16:50 演題7「合成生物学的アプローチによるがん免疫療法の進化」
慶應義塾大学医学部 先端医科学研究科 教授 籠谷 勇紀

「おわりに」 京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 教授 上野 英樹

セミナー終了後、講師と会場参加者との交流会を実施

- 定員：会場参加100名・WEB参加500名(定員になり次第締め切ります) ■ 参加費：無料
- 申込方法：参加希望者は、当財団ホームページ「参加申込・受付フォーム」からお申込み下さい。
<https://www.senri-life.or.jp> 参加者には、開催日前に参加方法をお知らせします。
- お問い合わせ：千里ライフサイエンス振興財団 セミナーV3事務局

E-mail:mtp-2022@senri-life.or.jp、TEL:06-6873-2006、FAX:06-6873-2002

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

後援：バイオコミュニティ関西